

いわき市立桶売小学校「学校だより」

おけうり

令和3年6月17日(木) 第11号

(発行者 校長 大木 淳)

<教育目標>

☆進んで学ぶ子ども(知)

☆健康でたくましい子ども(体)

☆みんなで助け合う子ども(徳)

<校章の由来>



外形は学校を取り囲む山々を表し、その内側には健やかな成長と社会貢献を願い、杉の若芽が描かれています。

いってきました、コミュニティ&あぶくま洞

6月11日(金)に福島県環境創造センター(コミュニティ福島)とあぶくま洞に行ってきました。コミュニティ福島では、放射線についての学習を行いました。ドライアイスを充填させてアルファ線やベータ線を見ることができる「霧箱」を観察したり、物質を通過してしまうガンマ線を見ることができる装置を見たりしました。また、どんなものから多くの放射線が出ているのか、シンチレーションという高額な機器を使って調べました。1番高かったのは温泉から出てくる湯の華で、2番目は減塩食塩、3番目が花崗岩(かこうがん)でした。

午後はあぶくま洞探検です。外の気温は25度以上でしたが鍾乳洞の中は10度しかありませんので、長袖を着て探検に出発しました。何千年何万年と、とても長い年月をかけて作られた鍾乳石は荘厳でパイプオルガンのような迫力です。その大きさに驚くとともに、独特の雰囲気を感じ出しているの言葉が出ませんでした。

プール開き

6月14日(月)の5校時に令和3年度プール開きを行いました。天候が不安定で、時折冷たい風が吹いていましたが、ここは「もっている2人」です。風はおさまり天気も回復して、絶好のプール日和になりました。

5年生は「50メートルをクロールで去年よりも早いタイムで泳ぐ」、2年生は「水に顔をつけられるようにする」と具体的な目標を発表しました。このあと、担任の先生と教頭先生と一緒に足先から静かにプールに入りました。思ったよりも温かかったようで、生き生きとした表情で水と戯れていました。2年生は教頭先生と遊んでいるうちに、水に顔をつけられるようになりました。

いわき教育事務所所長訪問にて

6月15日(火)に福島県教育庁いわき教育事務所より所長と次長がいらっしゃいました。

学校の様子を見て回り、校舎内外にわたってたいへんきれいなこと、一人ひとりを大事にした学級経営と温かな関わり方を実践していること、ICT活用が十分になされていること、新型コロナウイルス感染症の対策がしっかりされていること、調理員の方々がたいへん気をつけて調理されていること、食育の経営が素晴らしいこと、どの教室も清潔感が溢れ整理整頓されていることなど、たくさんお褒めの言葉をいただきました。

リアルタイム線量測定システムの数値(校庭)

0.086 μ SV/h 6/17 9:30

(放射線モニタリング情報)

<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>

桶売小学校 電話 0246-84-2230

Fax 0246-84-2240

在籍児童数 女子2名 計2名

<https://iwaki.fcs.ed.jp/>桶売小学校

